

令和3年2月25日

関係各位

特別養護老人ホーム フレンズホーム  
ホーム長 渡邊 久子

### 新型コロナウイルス感染症の収束について

拝啓 皆様には益々ご清祥のことと存じます。

この度、当施設におきまして新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生したことにより、入居者及びご家族様をはじめ多くの方々に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

また、現在も入院されている方が1日も早く回復されますことを心よりお祈り申し上げます。

これまでに、世田谷区高齢福祉課、世田谷保健所感染症対策課の方々からのご指導、ご支援をいただきながら全力を尽くして事態の収束に向けて取り組んでまいりました。

結果、最後の陽性者が2月2日に確認されて以来、3週間後の2月23日までに新たな陽性者の確認はされておられません。このような状況から当施設内の新型コロナウイルス感染症の集団感染が収束できたものと判断し、段階的に通常運営に戻ることをここにご報告いたします。

当施設で感染症が発生した当時、東京都内の医療機関は逼迫状態にあり、入院加療に至るまでに数日間を要し、感染が26名にまで広がる結果となったことは、痛恨の極みでした。

今回の辛い経験の中で、フレンズホームは痛みとともに多くのことを学びました。職員の感染防御の知識と感染管理の経験をもって、今後起こり得る感染症の波に万全の予防態勢で臨めるものと確信しております。

最後になりますが、この度の集団感染発生に際し、当施設への励ましのお言葉やご支援を賜りました皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

敬具